

台風 15 号による被害に遭われたお客様におかれましては、心からお見舞い申し上げます。9 月 6 日号でお伝えした台風 15 号は関東を直撃し、いまだ広域での停電発生等被害が継続しています。本号では物流への影響を中心にしてお伝えいたします。

1. 台風 15 号の上陸について

台風 15 号は 9 月 9 日(月)午前 5 時前に中心気圧 960hpa、最大風速 40m/s、最大瞬間風速 60m/s という強い勢力で千葉市付近に上陸したのちに関東を縦断し、9 日午前 8 時頃には茨城県沖の太平洋に通過しました。

今回の台風 15 号の中心気圧は、観測史上関東に上陸した台風の中で最大級(2002 年に川崎市付近に上陸した台風 21 号・1958 年に三浦半島に上陸した台風 21 号)です。また、東京湾で一番奥に位置する千葉市への上陸は初めてといえそうです。9 月 6 日号でも触れましたとおり、強風によって電線が切れる、樹木が根こそぎ倒れる、屋根が飛ばされるといった被害が広範囲で確認されました。

2. 物流への影響

港湾情報を中心に、横浜港については実際に撮影した写真とともにお伝えいたします。

【横浜港】

- ・9 日午後 3 時時点で南本牧ふ頭と本牧ふ頭「BC」ターミナルはゲートオープン済。
- ・本牧 D 突堤ターミナル、本牧 BC ターミナルを中心に空コンテナの倒壊が発生(下部写真参照)。D 突堤では 9 日午後時点ではコンテナターミナルへの車両出入りに制限があったものの徐々にゲートオープンし荷受け開始している。

「D-4」: 荷役機器やヤードへの損傷はなかった様子。9 日はゲートオープンせず、10 日より徐々に荷受を開始している模様。

「D-5」: 高潮の影響でヤードが冠水し、コンテナが一部陸側に流出し撤去作業に追われている一方、荷役機器には被害は無い様であり、撤去作業完了後にゲートオープン。

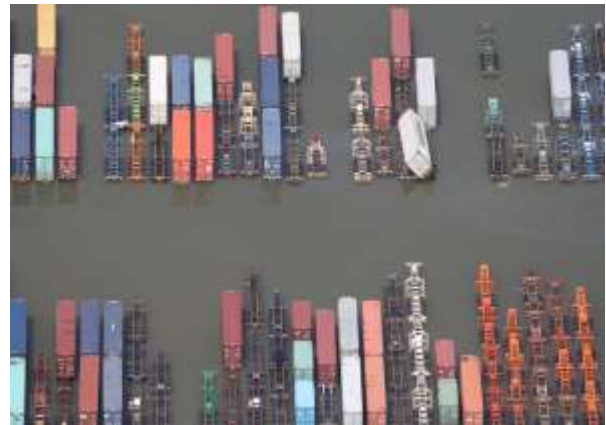
・南本牧ふ頭に向かう一般道が渋滞しているほか、南本牧ふ頭と本牧ふ頭を結ぶ臨港道路「南本牧はま道路」が強風により船舶が衝突したため 9 日午後 3 時時点で通行止めとなっており、同時点で解除の見通しは立っていない。そのため、「ターミナルへの搬出入に支障が出ている」(横浜港関係者)模様。



Google map を元に加工



本牧埠頭 D 突堤 空コンテナ倒壊



コンテナターミナル冠水の様子

【東京湾】

- ・東京港埠頭会社が所有・管理する各コンテナ埠頭のガントリークレーンは電気系統も含め全基被害は無し。
- ・空コンテナの倒壊は、青海コンテナ埠頭の A4、品川公共、中央防波堤外側 Y1 の各ターミナルで発生するも大きな損害は無し。

【川崎港】

- ・一部ガントリークレーンに修理の必要があるものの、「オペレーション上は問題ない」模様。

【千葉港】

- ・空コンテナと一部実入りコンテナが倒壊。ヤード冠水は免れ、電気系統も問題なし。近隣のタンクヤード・製油所も施設の一部に損害は発生したが甚大な被害はない模様。

【成田空港】

- ・航空会社やフォワーダーの貨物上屋の一部で外壁のはがれ、シャッターが破損するなどの被害が出たものの、施設の倒壊や貨物の濡損などの大規模な被害は出ていない模様。
- ・空港内一部施設にシャッターや外壁などの破損が見られ、コンテナやパレットが強風にあおられて紛失ないし破損する被害はあったものの、貨物に深刻な水ぬれが発生するといった大きな被害は出ていない模様。
- ・前日から台風の影響で輸出貨物の搬入や輸入貨物の到着が通常より少なかったこともあり、上屋から貨物が溢れるといった影響は出なかった模様。

3. 貨物保険の事故が発生している場合

ご契約頂いております貨物に損害が発生している場合には速やかにご契約の代理店または弊社までご連絡ください。



本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せください。編集にあたっては万全の注意を行っていますが、本 Topics 情報の正確性を保証するものではなく、これにより生じたいかなる損害に対して弊社は一切の責任を負わないものとします。

船舶・貨物・運送の保険の情報サイト「マリンサイト」

http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/hojin/marine_site/index2.html